

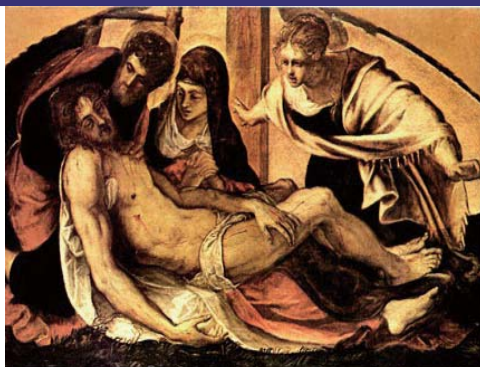


広報 なかわだ

第 343 号

3 月の予定

委員会	3 月 2 日
黙想会・共同回心式	3 月 8 日
ヨゼフ会例会	3 月 16 日
聖週間	(詳細は最終頁参照)
復活の主日	3 月 23 日



2008 年 3 月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 20 年 3 月 2 日



復活祭を迎えるにあたって

主任司祭 小林 陽一



2008 年 3 月 23 日の復活の主日が近づいて参りました。イエス様は、生涯の終わりが近くにつれて、復活の予告をなさっておられます。「この時から、イエスは、自分がエルサレムに行き、長老や大祭司や律法学者から多くの苦しみを受け、殺され、そして三日目に復活することを、弟子達に打ち明けはじめられました (マタイ福音書 16 章 21 節)」。復活の予告をなさる時、イエス様は「多くの苦しみを受け、殺され」と言っておられましたので、弟子達は当惑してしまい、復活することを信じるどころまでいきませんでした。ユダヤ人がイエス様を殺そうとし始めたのは、ヨハネ福音書では、イエス様がラザロをよみがえらせた後のことでした。「イエスがそこに居られると知って、ユダヤ人の大群衆がやってきた。それはイエスだけでなく、イエスが死者の中から生き返らせたラザロを見るためでもあった。大祭司たちはラザロも殺そうと決めた。多くのユダヤ人が、ラザロのことでイエスのもとに行き、イエスを信じるようになったからである (ヨハネ福音書 12 章 9 ~ 11 節)」。

過越祭の日、イエス様はエルサレムの都で最後の晩餐をなさいました。この時、イエス様は御聖体の秘跡を制定しました。その後、ゲッセマネの園で血の汗を流して祈り、捕らえられ、引き回されて、十字架に付けられて死を迎えました。

週の第一日目の夜明け頃、暗いうちに、マグダラのマリアはイエス様を埋葬した墓に行ってみると、石が墓から取りのけてあって、イエス様の御遺体はありませんでした。マグダラのマリアは、そのことをペトロ達に報告し、また墓に戻って、墓の外に立って泣きながら墓の中を見ると、白衣の天使が二人座っており、「婦人よ、なぜ泣いているのか」と訊きました。「だれかが私の主を取り去りました」と答えて、後ろを振り向くと、そこに復活したイエス様が立っておられました。マグダラのマリアは、最初、その人は園の番人と思いましたが、すぐに主であると気が付きました。

この後、復活したイエス様は、使徒やたくさんの弟子達の前に現れ、40 日を経て昇天し、御父のもとに帰られました。

キリストは、これらのことによって、主の十字架上の御死去は敗北ではなく勝利であることを示しました。また、イエス様が復活することによって、キリストを信じる全ての弟子は世の終わりに復活することをもお示しになりました。

復活したイエス様のメッセージをマタイは次のように記しています。「父と子と聖霊のみ名に入れる洗礼を彼らに授け、私があなた達に命じておいたことを全て守るように教えなさい。私は世の終わりまでいつもあなた達と共にいるのである。(マタイ福音書 28 章 19 ~ 20 節)」

復活したイエス様は、イエス様を信じている私達のそばにおられ、助けて下さっていることを忘れないようにいたしましょう。





被害者支援ボランティア相談員

上野 厚

昨年4月から神奈川被害者支援センターというところで相談員をしております。

センターでは犯罪被害者の方々を主たる対象に電話相談、面接相談や裁判所へ出廷する人達の付添等を行っています。このようなセンターはほぼ全都道府県にあります。

実際に相談を受けて気付かされたことがあります。守秘義務の関係もあって具体的なことは申しませんが、被害者の多くは想像以上に精神的、経済的に深刻な状況に追込まれているということでもあります。

現役時代に犯罪心理関係の仕事をしていたこともあって、千人以上もの各種犯罪被害者や殺人事件の被害者遺族の方々と面接し、被害者心理について多少の勉強もしたことがありました。それゆえ被害者について或る程度のことは分かっているつもりでしたが、その理解の浅さに気付かされております。

さて、およそ20年近くも前に児童虐待犯罪の調査のために米国出張をした際、ワシントンD.C.の救急病院を訪ねたことがあります。そこで犯罪被害を受けた被害者や家族に対して心理的支援は勿論、児童の学校への送迎、家事全般や葬儀の手助けまでするために24時間態勢で待機しているボランティアの人達に会いました。当時日本では被害者支援は知られていませんでしたから、「米国ではこんなことをやっているのか」と驚かされました。

ご存知のように米国は犯罪多発国で、例えば殺人事件は人口比率からみても日本の10倍以上もあります。^{かね}予てから、犯罪多発の為に米国社会はよく崩壊しないものだという疑問を持っていましたが、このボランティアの人達を見て、その抑止・復元力の一つを垣間見た思いがして感心させられたものであります。

近年、日本では従来は考えられなかったタイプの犯罪が多く発生しています。また、多少の波はあるにしても犯罪の増加は避けられそうにありません。被害者支援は欠かせなくなっています。出来るだけ長くこのボランティアを続けたく思っております。

典礼こよみ (3月)



日 曜		ミサ・勉強会	備考
1	土	ミサ (18時より)	掃除2G (9時30分)
2	日	四旬節第四主日 主日ミサ (9時より)	教会委員会 (ミサ後)
5	水	聖書勉強会 (10時より)	
7	金	十字架道行き (9時30分)、初金ミサ (10時)	掃除1G (ミサ後)
8	土	黙想会・共同回心式 (14時)	指導：鶴飼神父
9	日	四旬節第五主日 主日ミサ (9時)	典礼委員会
12	水	聖書勉強会 (10時)	
15	土	聖ヨゼフ祭日	掃除3G (9時30分)
16	日	受難(枝)の主日 主日ミサ (9時)	
20	木	聖木曜日 ミサ (19時)	
21	金	聖金曜日 ミサ (19時)	
22	土	聖土曜日 ミサ (19時)	大掃除 (10時)
23	日	復活の主日 主日ミサ (10時)	ミサ後 パーティー
26	水	聖書勉強会 (10時)	
29	土		掃除3G (9時30分)
30	日	復活節第二主日 子どもと共に捧げるミサ (9時より)	



教会建物の思い出 <その2>

鶴田 恒之

前回、建物の入口のことについて、フラットの問題を取り上げたが、必ずしもそうではなく、消失した場合、以前の建物に似せて建てようとするのが自然で、まったく別の発想をするのはむづかしく、明治の初め、震災や戦時などで建て替えられた場合、元の建物に近い発想になるのは仕方がないと思う。

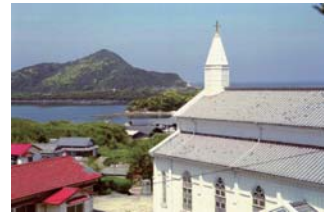
本所教会は、一度目は暴徒によって焼かれ、二度目は関東大震災、三度目は1945年に戦災によって消失したが、昔の建物とあまり変わりはない。入口のドアを押して入ると、アプローチというか、その部分は間口と同じ幅で、左右に小部屋を配し、その奥に聖堂がある。

古い教会で、天主堂といわれた戦前の建物は素朴であり、欧州にある壮麗な建物と違い目に見えない価値観があり、信仰とともに貴重な財産が心の遺産になっているのではないだろうか。

もう20数年も前、シンガポールに社員旅行をした際、高速道路の先に「日本天主公教会」の文字を見たときの感動は忘れることができない。次の日、ツアーに参加せずに、ガイドの地図を頼りにファーラー公園近く、エクスプレスウェイをはさんだビルの谷間にそれを見つけた。その時の写真は、カメラにフィルムが入っていないので、旅行写真の中に記録がない。戦時中で英語が禁止されていたためか、教会の入口の木に書かれた文字は、確かに「日本天主公教会」であった。その頃、祖母は、祈禱書を「オラシヨ」、聖堂を「おみどう」と言っていた。それは、まさに祈りの場であり、沈黙の場であった。

長崎や五島に見られる教会は、傾斜地に建てられ、入り江の奥にひっそりと建っている。教会に精神的な拠り所を求め、静かな祈りの場であることが、訪れた人々に感動を与える。

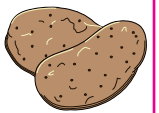
昨年夏のさなか、40数年前結婚式を挙げた教会を訪れることができた。当時の面影はなく、ドレスの裾をひきずりながら、足元に気を付けて降りた階段もなく、広い庭に建つ逆L字型の平屋建ての建物は広くて、左手奥にマリア像が私の方を見ていた。案内を請うたが、夏休みのためか、誰にもお会いすることも出来ず、ポストに手紙を入れて、入口のカンヌキを元通りにして退所した。



長崎県五島市水の浦教会



2月の要理学校だより



◆お芋の苗付けをしました！

2月24日、風が強く少し寒かったですが、晴天に恵まれ、皆で元気にお芋の苗付けをしました。ガーデングループの方々のご協力のもと、ご指導をいただきながら無事植え付けを終えることができました。これからは時々水やりや雑草取りをすることを約束しました。中学生のお兄さんたちも手伝ってくれました。



◆親の集い 2月17日 (11名出席)

2月活動報告

- ・2/16～17 小学生黙想会1名参加 於：葉山イエズス孝女会修道院
- ・2/17「種まきの話」マタイ13章の話を中心に手作りの紙芝居を見ながら「種」について考えました。また小林神父様も自ら絵をかかれた模造紙を使い、熱心に説明をして下さいました。
- ・2/24 芋の苗付け

3月の活動予定

- ・3/16(日)洗足式についての話と許しの秘跡(家庭でよく準備しましょう)
- ・3/20 聖木曜日洗足式に4名参加
- ・3月の子供ミサは3/30第5日曜日 活動は無し

その他

- ・4/27(日)第5地区教会学校合同遠足(於：栄光学園 野外ミサとミニ運動会(雨天：体育館))に要理学校として参加することに決まりました。
- ・カトリック教会学校傷害見舞金制度について今年度から加入することに決まりました。
- ・ベトナムの聖歌を復活祭パーティーで歌います。

委員会だより

△2月3日(日) 10名出席

■小林主任司祭あいさつ

*黙想会・共同回心式予定

▽日時… 3月8日(土) 14時より
指導司祭… 鵜飼師

▽日程

◆14時～15時講話「御聖体とミサ、信者生活について」

◆15時～16時赦しの秘跡

◆16時～17時主日ミサ ▼終了後「鵜飼神父様と懇話会」

*十字架の道行き

*▽四旬節中の金曜日9時30分より「十字架の道行き」を行う。

*世界祈禱会

▽日時… 3月7日(金) 13時30分～15時30分 場所…二俣川カトリック教会 《小林神父様も御参加》

*11月24日に「ペトロ岐部と187人殉教者列復式」開催。中和田教会としての献金等を検討してください。

《委員会審議結果》小林神父様にミサ説教時に「ペトロ岐部の話をしてく

頂く。更に、要理学校で作成した(第五地区要理学校で好評)プロジェクターを使用することも考慮に入れ、信徒に理解をして頂く。

その後、献金箱を準備し献金を募る。

■行事予定

3/16(日)受難の祝日(枝の主日) 9時～

3/20(木)聖木曜日(主の晩餐) 19時～

3/21(金)聖金曜日(主の受難) 19時～

3/22(土)聖土曜日(復活前夜祭) 19時～

3/23(日)復活の主日 10時

■審議事項

a. 信徒大会の反省

*全般的には「良い大会であった」。



*神父様から「財務報告が詳細に行われ信徒に理解でき、非常に良かった」。

■各グループ連絡・報告事項

a. 営繕G…大会で頂いたご意見は2月24日の「教会建物を考える会」で対応したい。

*教会案内板を地下鉄立場駅構内と、長後街道電柱に取り付ける準備をしている。また教会の十字架(新集会室外壁)のライトアップも検討中。

b. 典礼G…聖週間の典礼奉仕者を準備中、多くの方のご協力を依頼。

c. 行事G…グループ会議を行い、年間スケジュール等の準備を進めている。

d. 宣教G…2008年要理学校活動体制について

(a) 要理学校の計画

▽中高生グループを立ち上げ準備している。▽3月15日(転出のお友達の)お別れ会を計画。▽4月27日(日)第五地区合同運動会(栄光学園)

(b) 外国語ミサに対応して

▽神父様のご意向を考慮し、ベトナム語の聖歌などを検討中。

e. 福祉G…1月20日片瀬教会で行われた「第五地区・周辺教会福祉会議」に参加してみたい。

▽いろいろな教会の活動内容を聞いたが、教会ごとに行動に差があるようだ。▽中和田教会も、外部の「福祉関係の集い」に会議室をお貸ししてはどうか。「費用は献金と言うことにして」など、福祉グループで詳細は検討する。

f. 事務G…第五地区アンケートについて(小野委員長)…第五地区共同宣教司牧委員会の祈りの部門担当者会より、次の項目によるアンケートを求められている。

①「自らの力で祈ることができる

共同体づくり」個人レベルで工夫

できることがあるか。②「自らの

力で祈ることができる共同体づく

り」を小教区で工夫できることが

あるか。③ミサ以外の共同体の祈

りに工夫があるか。

《神父様指導》このアンケートにつ

いての詳細は広報に掲載する。そ

していろいろなお小グループで話し

合って欲しい。例えば、典礼委員会・

掃除グループ・要理父母会・ガー

デンファームグループなどで行っ

て、委員会へ報告して頂きたい。

▽「典礼こよみ」の確認。細部につ

き典礼委員会でも検討し、事務グルー

プ・広報グループに送付される。

2月17日に第5地区共同宣教司牧

委員会が大船教会で開催されまし

た。今回は、各部門(祈る力を

強める)「伝える力を強める)「証

しする力を強める)の活動報告が

主体でしたが、次回には第5地区

08年2月委員会後記 小野委員長

■ご復活の主日が近づいて参りま

した。3月8日(土)には鵜飼

神父様をお迎えして午後2時より

黙想会・共同回心式・ミサが行わ

れます。ミサ終了後、鵜飼神父

様を囲んで茶話会も予定されてお

ります。ぜひ皆様のご出席をお願

い申し上げます。(注…以前よ

り中和田教会がたいへんお世話に

なつて来た鵜飼神父様は、長野県

の松本教会に主任司祭として赴任

されます。

2月17日に第5地区共同宣教司牧

委員会が大船教会で開催されまし

た。今回は、各部門(祈る力を

強める)「伝える力を強める)「証

しする力を強める)の活動報告が

主体でしたが、次回には第5地区

としての取り組みの優先度などが

審議される予定です。また今回のトピックスとして、第5地区の教会学校春の合同遠足の企画が披露されました。第5地区の教会学校の連携ならびに活動の盛り上がりは、まさに関係しておられる皆様のご努力の賜物です。第5地区共同宣教司牧委員会として積極的に活動を支援していくことが確認されました。中和田教会としても、教会学校関係者の皆様の日頃のご努力に感謝申し上げるとともに、活動の盛り上げを是非バツクアップしていきましょう。

お知らせ

予定

- 2/ 8 (金) ~毎週金曜日 十字架の道行き 9時半~
- 3/ 8 (土) 黙想会・共同回心式 14時~
- 3/16 (日) 受難の祝日(枝の主日) 9時~
- 3/20 (木) 聖木曜日(主の晩餐) 19時~
- 3/21 (金) 聖金曜日(主の受難) 19時~
- 3/22 (土) 聖土曜日(復活前夜祭) 19時~
- 3/23 (日) 復活の主日 10時~ ミサ後パーティー

